

竹原管内景況調査

6月の製造業は好転、非製造業は悪化

当会議所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、平成29年6月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

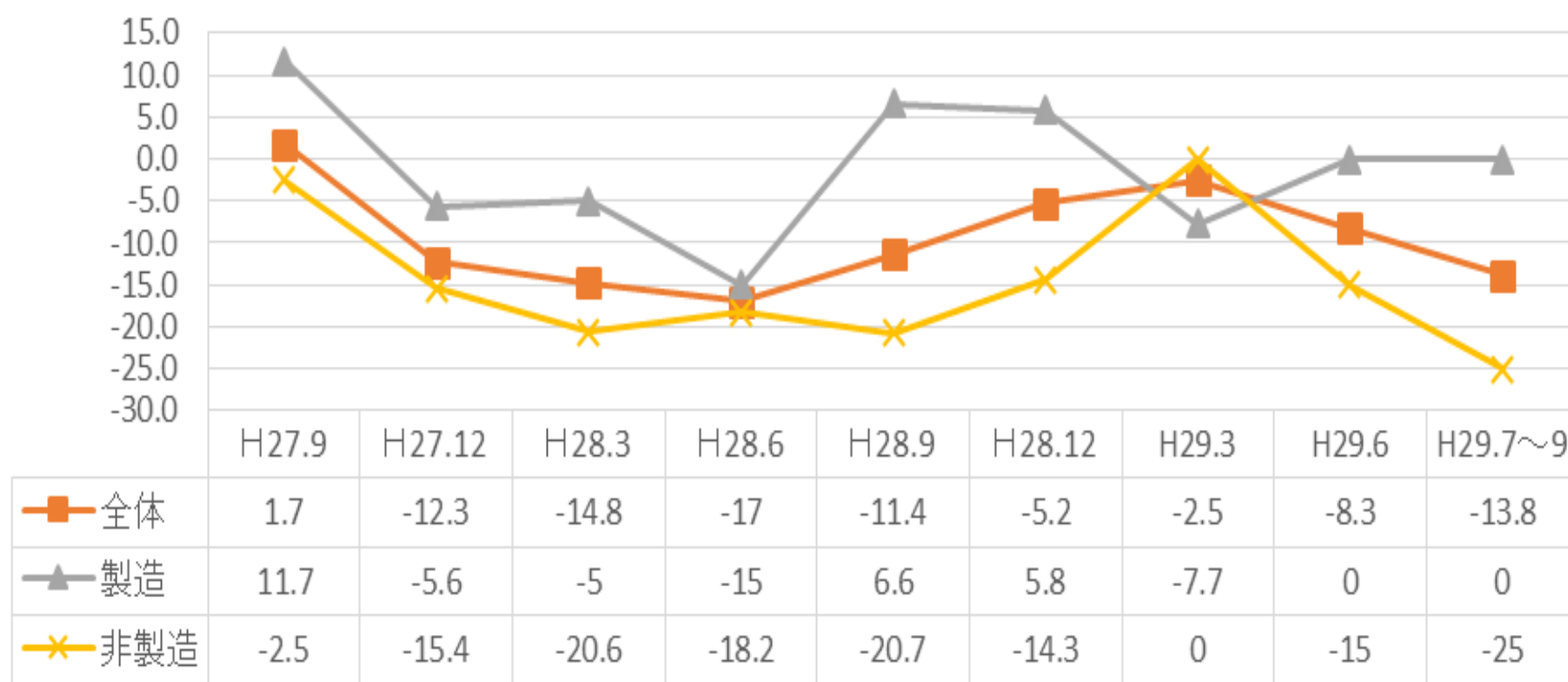
調査概要
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
平成29年6月
【調査対象】
当商工会議所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	18	16
建設	6	4
小売	16	8
サービス	18	8
合計	58	36

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



6月の景況DI数値は、前回調査と比べて、製造業は、7.7ポイント好転しています。非製造業は-15ポイント悪化しており、全体としては-5.8ポイント悪化しています。6月と比べて7月~9月までの見通しは、全体では-5.5ポイントには悪化しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

- ・繁忙期と閑散期がある為、月々の比較はできないが現状維持はしている。(製造業)
- ・市場環境は引き続き厳しいが、コスト改善を推進。(製造業)
- ・人件費の上昇、人手不足、先行き不安などからの節約、競合店との競争等から、売上、収益は厳しい状況にある。(小売業)
- ・人口減少と社会の流れによる回転率の悪さ。(サービス業)
- ・公共工事が少ない。(建設業)

●設備投資(国内・海外)の実施状況や今後の予定についてお聞かせください

- ・現時点では既存設備の更新投資が中心。将来的には売上拡大のため投資を検討したい。(製造業)
- ・設備修繕、維持は行うが、新規投資は一切行わない。(製造業)
- ・合理化の為、若干の設備投資をする。(製造業)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)